

やさしい漢字の覚え方

漢字は、元来、部品とも言うべき“部首”を合理的に組み合わせて作っていったものですから、その基本である部首の持つ意義や性格をよく理解し、それを土台にして体系的に論理的に学習していきますと、理解が容易になるばかりでなく、一度学習した漢字はしっかりと記憶にとどまって、忘れることがなくなります。

ところが、今まで、漢字学習と言えば、ただがむしゃらな反復練習による丸暗記に頼って、無秩序な学習を強制して来ました。これでは、学習するのに骨が折れますし、また、骨を折って覚えても、じきに忘れてしまいます。

漢字の九〇パーセント以上が、部首と呼ばれる“部品の組み合わせ”によって出来上がっています。たとえば、一八五〇字の当用漢字に使われている部首は全部で一九二個です。つまり一九二個の部品をいろいろに組み合わせることにより、一八五〇字の当用漢字が出来上がっているのです。勿論、表外漢字を含めると、一九二個の部首で作られている漢字は、数千字にも上るでしょう。

だから、わずか一九二個の部首の持つ意味や性格を理解するだけで、数千字もの漢字の意味や読み方を推察することが出来るわけです。部品には、意味を持っている部品と、発音を表わす部品とありますから、それから、その漢字の意味も読み方も求めることが出来るのです。

このような性格を持っている漢字を、そのような部首の知識もなしに、ただがむしゃらに丸暗記しようとするのは、単に非効率であるばかりでなく、せっかく、推理判断する能力を養う機会をみすみす棄てるものです。

「漢字は字形が複雑だからむずかしい」と、よく言われます。しかし、それは漢字の構成を知らないからそう見えるのであって、漢字の本質を知れば、漢字ほど合理的で、やさしく覚えられる文字は他にありません。